

科目名	感染と予防Ⅰ (微生物の基礎知識)					DP4 DP6	看護高等課程
学年	1 年	分野	専門基礎 疾病の成り立ち	時間数	13 時間	担当 教員	川内 保彦
科目 概要	私たちの体や身の回りには、目に見えない微生物が多く存在する。その中で一部の微生物が感染症を引き起こす。目に見えない微生物について理解し、それらがどのように私たちの体に侵入して感染症が起きるか微生物の基礎的な知識を学ぶ。						
到達 目標	1. 微生物の基礎を学び、看護に活かすことができる。 2. 細菌やウイルスの種類や特徴について理解できる。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～6	微生物の基礎		ヒトと微生物、病原微生物学の発展、微生物の概要			講義	川内
	微生物と感染		感染症とは、感染経路、微生物の病原性 生体防御機構、感染症の種類 日和見感染症と菌交代症、新興・再興感染症			講義	
	感染症の診断に利用される免疫学的検査		感染症の免疫応答、免疫検査の種類			講義	
7	試験		(1 時間)			試験	
評価 基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	看護学入門3 疾病の成り立ち 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							